

# 道路ユーザーネットワーク広場

NETWORK NETWORK



香川県の河川敷で来光を浴びる。ダイヤモンド讃岐富士(飯野山)た〜♪



装備取り付け隊とカフェ常連さんの送り出し隊。土産話待っててね〜。

ふと思いつき、大阪・兵庫・岡山・香川にツーリングに行ってきた。一言で表すならば、「御礼廻りの旅」。一年前に仲間と力を借りて私の元へやってきた通称「パリダカ子」(1997年にパリダカを



思い立ったが吉日レイコ。今回の必携はウォームカバー！

三好礼子  
エッセイスト・元国際ラリスト  
~ http://www.fairytale.jp/~

★三好礼子の★  
ナチュラル・ロード



岡山県青年館の武市さん(実はライダー)。パリダカ子の場所にはガンダムが！

手元にいるのが自然でしょう。いいですよ」と館長の武市さん。私、号泣。直接赴いて御礼を言わねばと思



100マイル優勝。トレラン三味の女子たちは、みなハイテンションだった！

凍結を避けるとなると、選択肢はバイクが手元に来た日しかなく、大慌てて手元にあったカウルやキャリアなどのツーリングパー

完走した400ccのラリーバイク。21年前に岡山県青年館に売却されて以来、ホールで展示されていたのですが、お借りしたのすっきり情が移ってしまいました。買い取りたい旨を伝えると、「礼子さんの



倉敷を経て里山にある恒枝直豆さんの備前窯へ。珈琲カップと徳利をゲット。



四国中から集った仲間たち。手前右が日本一周カウストダウンの萌ちゃん。



車線規制して最終工事中の高松自動車道。初めて通る高速はワクワク。

道はとにかく快適でした。関西も四国もあらゆるところで高速道路が繋がっており、今回走った1350キロの約9割が高速

の旧友の備前窯を訪問。突然驚かれましたが、なかなか行けなかったところばかりなので、本当に嬉しかったです。最後は、昨年「四国一周ツーリングが終ると

道はとにかく快適でした。関西も四国もあらゆるところで高速道路が繋がっており、今回走った1350キロの約9割が高速

の旧友の備前窯を訪問。突然驚かれましたが、なかなか行けなかったところばかりなので、本当に嬉しかったです。最後は、昨年「四国一周ツーリングが終ると

の旧友の備前窯を訪問。突然驚かれましたが、なかなか行けなかったところばかりなので、本当に嬉しかったです。最後は、昨年「四国一周ツーリングが終ると

九州の散歩道  
フリージャーナリスト 湯浅玲子

## 神仏習合の「六郷満山」をめぐる

「日本の秘境100選」にも選ばれた大分県の国東(くにさき)半島は、瀬戸内海に向かって丸く突き出たような形をしています。中央には標高720mの両子山(ふたごさん)があり、周辺の山々を含めて両子火山群を形づくっています。この火山群から流れ出た溶岩が放射状に延び、独特の丸い地形をつくっているのです。

ハット  
思いました

と、教を導く人、僧侶や神父など宗教上の指導者、専門の技術を持つ人、軍隊・兵士の集団、そして、

平安末期には半島内に約1000の伽藍があったといいますが、現在でも山中に30を超す寺院があり、六郷満山の霊場をめぐる風習が残っています。面白いのは特別礼所として宇佐神宮が含まれていること。仏教の霊場めぐりなのに大きな神社が含まれている。そ

のことだけでも、この地の神仏習合の文化が伝わってきます。他の主な寺院を紹介すると、まず九州では最古の木造建築物とされる富貴寺(ふきじ)。宇治平等院鳳凰堂や奥州平泉中尊寺金色堂と並び、日本三大阿彌陀堂のひとつに数えられています。どの季節に訪れても美しく落ち着いた風情で

「京師」と言う言葉が。京師とは、多くの人が集まる所・都とあり、師衆と記されています。と、十二日は、お坊さんや先生に限らず、多くの方がせわしなく動き回る時節なので「師」になって少し視野が広がりますが、勿論、来年五月には走」と言うのだと、この歳りました。では、何故十二元気が変わることが分か

と、教を導く人、僧侶や神父など宗教上の指導者、専門の技術を持つ人、軍隊・兵士の集団、そして、

平安末期には半島内に約1000の伽藍があったといいますが、現在でも山中に30を超す寺院があり、六郷満山の霊場をめぐる風習が残っています。面白いのは特別礼所として宇佐神宮が含まれていること。仏教の霊場めぐりなのに大きな神社が含まれている。そ

六郷満山一の古刹とされる文殊仙寺(もんじゅせんじ)は、大化4(648)年に役行者(えんのきょう)によって開かれたと伝わりま。知恵の神様である文殊菩薩をお祀りし、合格祈願や学業成就で訪れる人が多い寺です。両子山の中腹にある両子寺は、六郷満山の修行道場として栄え、江戸時代には六郷満山の総寺院の地位に

「京師」と言う言葉が。京師とは、多くの人が集まる所・都とあり、師衆と記されています。と、十二日は、お坊さんや先生に限らず、多くの方がせわしなく動き回る時節なので「師」になって少し視野が広がりますが、勿論、来年五月には走」と言うのだと、この歳りました。では、何故十二元気が変わることが分か

と、教を導く人、僧侶や神父など宗教上の指導者、専門の技術を持つ人、軍隊・兵士の集団、そして、

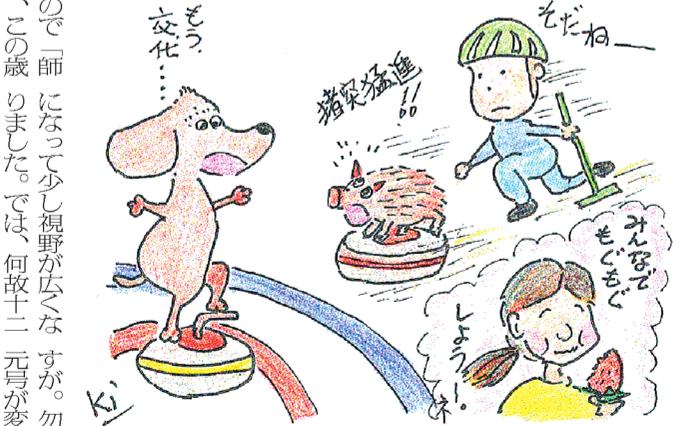
平安末期には半島内に約1000の伽藍があったといいますが、現在でも山中に30を超す寺院があり、六郷満山の霊場をめぐる風習が残っています。面白いのは特別礼所として宇佐神宮が含まれていること。仏教の霊場めぐりなのに大きな神社が含まれている。そ

ありました。護摩堂に祀られた不動明王、国東半島では最大の山門の仁王像、本堂や護摩堂などの伽藍配置と、往時の寺院の様子を今によく伝えています。どの寺院もそれぞれ個性があり、いくつかを回るだけでも十分に楽しめます。参拝のあとに御朱印を求めるのも散策の楽しみのひとつです。(写真提供:大分県)

と、教を導く人、僧侶や神父など宗教上の指導者、専門の技術を持つ人、軍隊・兵士の集団、そして、

と、教を導く人、僧侶や神父など宗教上の指導者、専門の技術を持つ人、軍隊・兵士の集団、そして、

と、教を導く人、僧侶や神父など宗教上の指導者、専門の技術を持つ人、軍隊・兵士の集団、そして、



と、教を導く人、僧侶や神父など宗教上の指導者、専門の技術を持つ人、軍隊・兵士の集団、そして、

と、教を導く人、僧侶や神父など宗教上の指導者、専門の技術を持つ人、軍隊・兵士の集団、そして、

と、教を導く人、僧侶や神父など宗教上の指導者、専門の技術を持つ人、軍隊・兵士の集団、そして、

と、教を導く人、僧侶や神父など宗教上の指導者、専門の技術を持つ人、軍隊・兵士の集団、そして、